

「淀川水系河川整備計画原案についての補足資料」に関する意見を送付します。

○河川整備計画策定に当たった河川管理者のスタンス

考え方については、このスタンスで良いと思います。

○淀川水系の河川整備の現状と治水対策の基本的な考え方

中上流域の改修に着手する時期であることは、間違いないことであり、所定の安全までの整備をすすめることは重要です。従って、提示資料の表現で良いと思います。

○ダムの効果について

淀川水系でのダムの効果は、1ダムでの効果の議論をするのはおかしいと思います。そのような議論では、淀川水系に1つもダムが出来ません。下流では、複数のダムにより大きな効果が発揮することになり、そのために1つ1つのダムの積み重ねが必要と思います。

従って、提示資料のとおりで考え方は良いと思います。

○整備計画の効果について

効果内容については、理解できます。

○河川環境の保全と再生についての考え方

河川環境に対する取り組みの方向については、良いと思います。

高木多喜雄